

阿賀浦コミ協だより

令和6年3月25日
 広報第44号
 阿賀浦コミュニティ協議会

秋葉区「地域コミュニティ未来ビジョン」全体発表会が2月4日(日)に秋葉区文化会館ホールで開催されました。秋葉区内の11の全てのコミュニティ協議会で、小中学生、高校生、PTA、地域企業、自治会の役員など幅広い世代が参加して創り上げました。

阿賀浦コミュニティ協議会では、以下の3回でグループ討議を行い、意見をまとめました。

7月22日 第一回：地域の未来を予想しよう！

9月2日 第二回：地域の現状を把握し資源を探そう！

9月30日 第三回：アクションプランをつくろう！

第一回では、132の意見が出され、以下の5つのテーマにまとめました。

- ① 人が集まる交流の場を作る
- ② キレイな地域を作る
- ③ 生活に便利な街を作る
- ④ 若者(子ども)の住みやすい街を作る
- ⑤ 地域資源を生かした新たな活動を作る

第二回、第三回の討議で以下の9点に絞り込みを行いました。

- ① スポーツイベント：阿賀浦鉄道杯
- ② 国道460号に道の駅を
- ③ 花いっぱい運動の推進
- ④ 地域学園中心プロジェクト
- ⑤ 新金沢保育園の活用プロジェクト
- ⑥ 阿賀桜
- ⑦ コミ協まつり(阿賀小学校との連携)
- ⑧ 鉄道資料館のSLを復活させる
- ⑨ 安吾館(文豪の資料館)をつくる

12月3日、12月23日、1月23日の検討会で以下の3つのテーマに絞り込みを行いました。

- 1) コミ協まつり(阿賀小学校との連携)
- 2) 新金沢保育園の活用プロジェクト
- 3) 安吾館(文豪の資料館)をつくる



グループ討議・発表



代表者検討会



秋葉山から阿賀浦地区を望む



あきは区役所だより403号より引用

2月4日発表会の様子

未来ビジョン完成

地域コミュニティの明日を描く

秋葉区では、新築市で初めて、コミュニティ協議会と「コミュニティ未来ビジョン」を作成しました。11のコミュニティ協議会が、地域ごとの特色や抱負を踏まえた未来像を抽出、少年部会や入居者などから意見を聞き、特徴ある地域社会の実現を目指します。各コミュニティ協議会では30歳未満層をターゲットに、小学生や高校生、PTA、自治会・町内会などさまざまな立場の住民が、秋葉区全体で延べ1,000人以上参加し、この未来ビジョンの作成に関わりました。

未来ビジョン完成までのステップ

- 1日目 未来予想**
【1年生、10年生の協賛】
あきあきについて意見を話し合いました。
- 2日目 現状把握**
地域の様子や課題を話し合い、それらを踏まえたアイデアを出しました。
- 3日目 アクションプラン**
アイデアの中から特に実現したいことを絞り、中期（6か月）を考えました。

こんなアクションプランができました!

- ・教育対策を考えたおもてなし
- ・遊園や施設などを花いっぱいにして地域を明るくする
- ・子どもや小学生のグループで遊園や施設
- ・地域の特色や歴史などを取り入れたおもてなし
- ・コワーキングスペースをオープンして、さまざまな世代が集まれる空間をつくる
- ・1年を通じて誰もが美しく保てる遊歩道を目標とする

全11コミュニティ協議会の未来ビジョン発表会を開催

秋葉区コミュニティ協議会が参加する、全体発表会を開催します。それぞれのコミュニティ協議会が作成した未来ビジョンを紹介します。

日時 2月4日 午後2時15分から
(秋葉区議会の開会(19時30分)内)

会場 秋葉区文化会館
申し込み 1月29日(形まで)
地域協議会連絡グループ (0258-6472)



以下発表資料の抜粋です。来年度より、5年後10年後の、あるべき姿を目標にアクションプランを検討し進めてまいります。地域の皆様のご意見、ご協力をお願い致します。

阿賀浦地区未来ビジョン座談会 成果概要

阿賀浦地区コミュニティ協議会
秋葉区自治協議会

日時 2024年 2月 4日
場所 秋葉区文化会館

12月3日、12月23日、1月13日の3回の検討会で次に示す3つのテーマに絞り込みを行いました。

- (1) コミ協まつり(阿賀小学校との連携)
- (2) 新金沢保育園の活用プロジェクト
- (3) 安吾館(文豪の資料館)をつくる

これらのテーマについてのアクションプランを次に説明します。

アクションプラン(1)
コミ協まつり(阿賀小学校との連携)

目的	地域コミュニティの結束を高める。地域の文化や伝統を紹介し地域住民の誇りを育む。子供から大人まで楽しめる交流事業で地域の活性化
内容	文化祭、青空フェスティバル等既存事業との連携、物販(特産品)展示(安吾紹介)、芸能発表(コミ協芸能祭)、作品発表(域内愛好者)
対象	地域住民全般、阿賀小学校、子どもから高齢者まで、域外からの参加者見学者、地域の団体や企業
担い手	コミ協、阿賀小学校、自治体、スポーツ振興会、教育機関、PTA、商工会や観光協会、保護者有志、ボランティア
概要	例) 既存事業(文化祭) 従前の学校文化祭の中に「体育館」をメイン会場に芸能発表(地域の活動団体・個人)に加え、第五中プラスバンド、小学生の合唱等、子供達要望の物販(出店・キッチンカー・農産物等)

アクションプラン(2)
新金沢保育園の活用プロジェクト

目的	長く域内にあった施設の有効活用や改善。幼児から高齢者までの交流施設。地域住民の安全と健やかな成長をサポートする。
内容	保育園の建物や設備のリニューアル、教育プログラムの作成と展開、発信機能、交流機能、安全対策の強化と環境改善、ボランティア推進
対象	地域の子どもとその家族、地域住民全般
担い手	コミ協、自治会、教育委員会、キッズクラブ運営者、NPO法人、退職教員 地域の企業や団体、ボランティア
概要	プロジェクトの立ち上げと計画策定、資金調達と施設の改修計画、教育プログラムの作成と改善、人材活用プログラム、キッズクラブ(学童保育)、学習指導、幼児教育(遊び場)、高齢者学級、ボランティア活動

アクションプラン(3)
安吾館(文豪の資料館)をつくる(誘致)

目的	文豪「坂口安吾」の生涯や作品を紹介し、地域の文化・歴史を活性化する。地域住民の学びの場とし、観光資源としての地域の魅力を高める。
内容	文豪「坂口安吾」の生涯や作品展示。文学資料や原稿の收藏、イベントや講演会の開催、学習スペースや資料館を設置。(安吾館の誘致)
対象	地域住民、安吾愛好家、学生や教育機関、観光客
担い手	コミ協、自治会、安吾の会(新潟、松之山、桐生)、歴史・文化に造詣の深い個人や団体、観光協会、文学関連施設(図書館)
概要	資金の調達と場所の確保、展示や收藏物の準備、イベントや講演会の企画や実施、スタッフやボランティアの募集と育成、広報活動と地域への啓発、旧阿賀小学校敷地に安吾館誘致建設、既存建屋の有効活用

9月30日第3回発表会の様子

賽の神神事

五穀豊穡や無病息災を願って正月飾りなどを燃やす行事が行われました。賽の神の炎であぶったスルメを食べると、1年間風邪をひかないという言い伝えがあることから、集まった人たちが炎を囲み、さおの先にぶら下げたスルメをあぶっていました。

中新田賽の神



スルメ焼き



中新田では、伝統ある地域行事の「塞ノ神」が1月14日(日)に農村公園で行われ、コロナ感染で中止以来、5年ぶりの開催となりました。

組み立てには早朝から自治会、各団体の方々が協力し、稲わらで塔を作り飾り付けをしました。点火は今年の年男、年女をお願いして、1年間の無病息災を祈願。また、消防団には防火や警備等のご協力をいただきました。

当日は新年会も行われ、子供達も含め約80人が参加し、地域の方々との親睦も深まりました。参加された皆様、準備された関係者の皆様、ありがとうございました。

大安寺賽の神



消防団による監視



1月7日(日)に大安寺の集落センター前の広場で賽の神が行われました。PTA、農家組合、自治会で協力し昨年10月から藁集め、とば編みなどの準備を行い、7日午前中、雪が降り始める中、竹で骨組みを作り藁の塔を作りました。

午後からは、神明宮より点火用の火種を運び小学生が点火しました。地区の人達が約50名集まり、さおに吊るしたスルメをあぶって、無病息災を祈願していました。

消防団の方には、火災予防の為に火の監視、鎮火後の火の始末を行って頂きありがとうございました。皆さん今年も元気に頑張りましょう。



スルメ焼き

編集後記

今年度も最後の月となりました。阿賀浦コミ協だより44号をお届け致します。皆様からの地区の行事、話題等の投稿をお待ちしております。以下のメールアドレスまでお願い致します。

agauracomikyo@coral.plala.or.jp 広報部 部長 阿部敏雄 宛て

阿賀浦コミ協だよりは「新潟市地域活動補助金」を活用しています。



新津東町 1月14日(日)午前中、勤労青少年ホーム体育館を会場に「ふるさとづくり事業」として、「新年お楽しみ会」を地域PTAスタッフが東町サロンの皆さんの協力を得て、児童・生徒を対象に冬期間の運動不足解消と交流を目的に開催し約120名の方が参加しました。
ゲーム、お餅・トン汁の提供で楽しみ交流を図りました。地域PTAスタッフの皆様ご苦労様でした。



新津東町 1月14日(日)午後2時から能代川堤外を会場に「ふるさとづくり事業」として青年部が中心となり、藁で作った賽の神(別名どんど焼き)を開催し約170名の方が参加しました。堀出神社宮司、年男の方数名により玉串奉納後点火。すめ、玉こんにやく、甘酒等出店販売、賽の神で焼いたすめは病気になると言われていたようですが、多くの子供たちの焼く姿が見られ、最後に景品付き抽選籤実施。そして、新年の顔合わせが出来ました。

昨年引き続き秋葉区(旧新津市)で新津安吾忌開催

安吾 WORLD 2023

新津安吾忌

開催日: 令和6年2月17日(土)

会場: 新津地域学園 305会議室 13時受付

内容: 記念講演会・墓参(参加費無料)懇親会(5,000円)

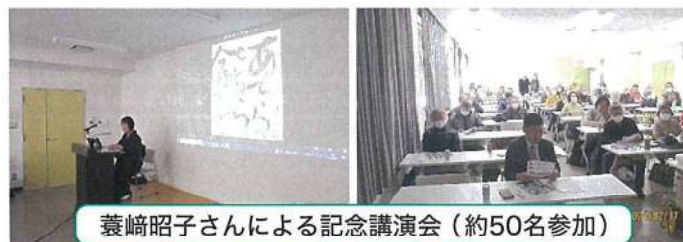
主催: 阿賀浦コミュニティ協議会

墮落論、白痴の作者で知られる文豪「坂口安吾」(1905年~1955年)の命日である2月17日に、安吾の眠る秋葉区で記念講演会と墓参が開催されました。講演会の講師には安吾終焉の地、群馬県桐生市より安吾研究に造詣の深い、蓑崎昭子さんをお招きし、「安吾のいる桐生」と題して、転居のいきさつ、三千代さん、綱男さんとの暮らしについて紹介頂きました。

①安吾忌記念講演 13:30~ :講師 蓑崎昭子氏(株)桐生タイムス社 記者
演題 「生き生き生きて ~安吾のいる桐生~」

プロフィール

富山県生まれ。城端小・中学校、御波高校、京都大学卒業。
(株)桐生タイムス社入社。記者として主に教育・文化面、時にヒマラヤ登山に同行し取材・撮影。執筆。桐生の「安吾を語る会」には1990年2月17日の第1回からかわる。坂口綱男さんのフォトエッセー「安吾のいる風景」担当。「安吾と桐生」「安吾の上州・桐生」「安吾の桐生さんぽ」など共著・編集。他の著書に「祈りの手技」「ノコギリ屋根の風景」など。桐生の安吾忌は安吾引越し記念日の2月29日にあわせて行う事になり、新潟に来ていただけることになりました。



講演終了後バス移動

②墓参 15:15分からは引用:文学の風景 若月忠信氏

③懇親会(希望者)17:00~
・会場は遠くまで参加者にお知らせします。
・会費5,000円程度(会場提供)

